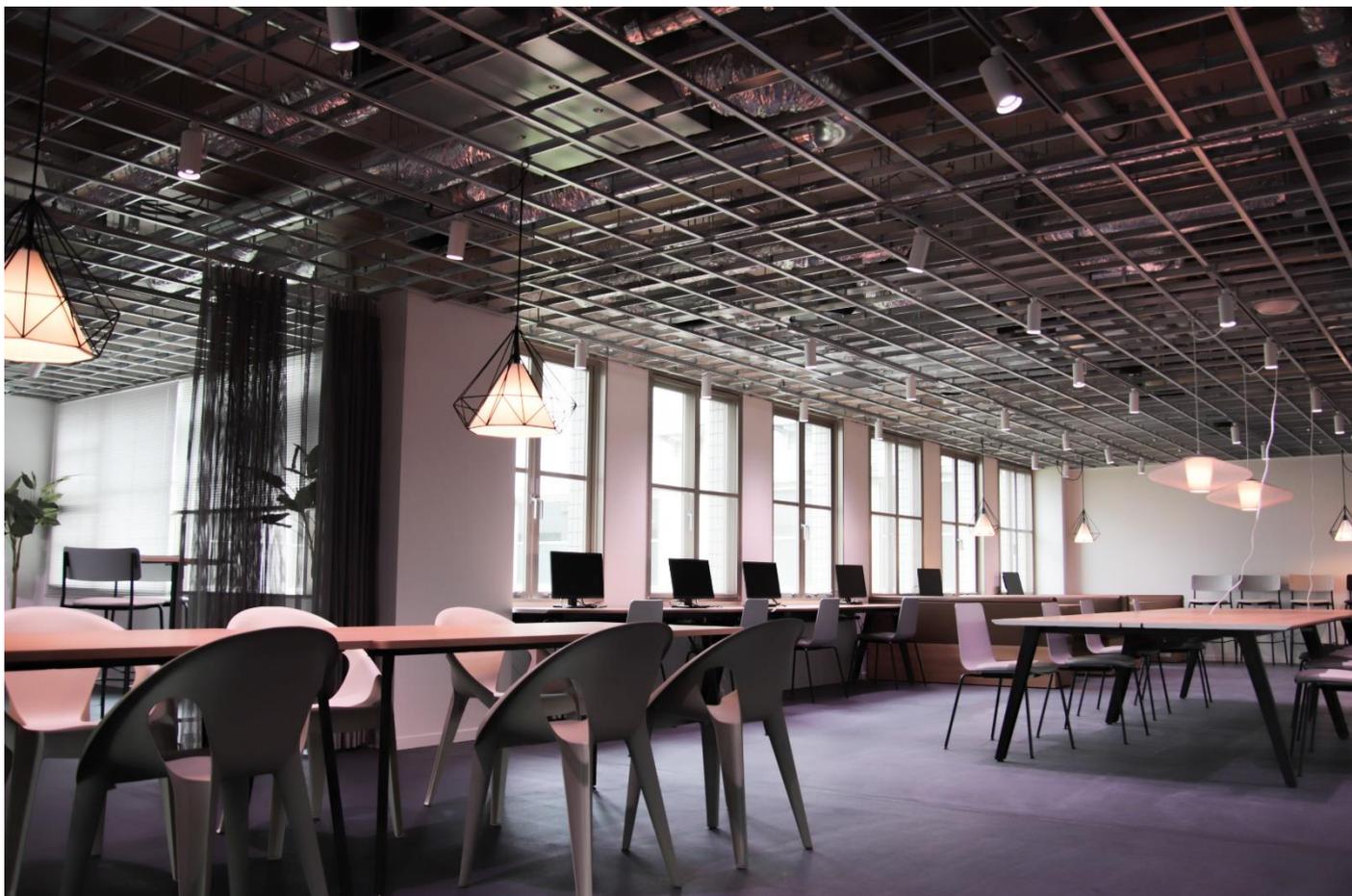


加賀市イノベーションセンターレポート

北陸初、国家戦略特区「加賀市」のインキュベーション施設が起業家を支援



加賀市イノベーションセンター（所在地：石川県加賀市大聖寺八間道65かが交流プラザさくら3階、運営：加賀市イノベーション推進部）は、新しいビジネスが生まれる場所、新たなコミュニティやつながりが生まれるインキュベーション施設として、令和5年6月、加賀市に誕生しました。

詳細は https://www.city.kaga.ishikawa.jp/senryaku_tokku/innovation_center/index.html にてご確認いただけます。

インキュベーション施設とは

インキュベーション施設は、スタートアップ企業や新規事業の立ち上げを支援するための施設です。起業家に対してオフィススペースの提供だけでなく、経営アドバイス、資金調達のサポート、ネットワーキングの機会など、多岐にわたる支援を行います。

Point 1. 目的と機能

インキュベーション施設の主な目的は、スタートアップ企業の成長を促進し、成功率を高めることです。これを達成するために、以下のような機能を提供します。

① オフィススペースの提供

通常の市場価格よりも低価格でオフィススペースを提供し、起業家が初期コストを抑えられるようにします。

② 経営アドバイス

インキュベーションマネージャーやメンターが、経営戦略、マーケティング、財務管理などのアドバイスを提供します。

③ 資金調達支援

ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家とのネットワーキングイベントを開催し、資金調達の機会を提供します。

④ ネットワーキング

他のスタートアップ企業や業界専門家との交流を促進し、ビジネスチャンスを広げます。

Point 2. 支援内容

インキュベーション施設では、以下のような具体的な支援が行われます。

① ビジネスプランの作成支援

起業家が具体的なビジネスプランを作成するために必要なサポートを提供します。

② マーケットリサーチ

市場調査を通じて、ターゲット市場や競合分析を行い、ビジネス戦略を立てる手助けをします。

③ 技術支援

技術的なアドバイスやリソースの提供を行い、製品/サービス開発をサポートします。

Point 3. 成功事例

インキュベーション施設は、世界各国で多くの成功事例を生み出してきました。日本でも、インキュベーション施設の数が増加しており、地方自治体や大学が運営する施設も多く見られます。例えば、東京大学の「アントレプレナープラザ」や「アントレプレナーラボ」などが代表的です。山形県鶴岡市のインキュベーションセンターでは、慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）を中心に、バイオテクノロジー分野での研究開発を推進しています。2001年に開設された慶應先端研は、メタボローム解析や統合システムバイオロジーなどの先端的な研究を行い、数多くの大学発ベンチャーを輩出しています。

インキュベーション施設は、スタートアップ企業の成功を支える重要な役割を果たしています。今後も、これらの施設が進化し続けることで、より多くの起業家が成功を収めることが期待されます。

加賀市の取り組み

加賀市は、スタートアップ企業や新規事業の立ち上げを支援するために、さまざまな取り組みを行っています。

1. インキュベーションルームの提供

加賀市イノベーションセンター内には、スタートアップ企業や創業を目指す個人向けの「インキュベーションル

ーム」が設置されています。この施設は、IT や AI などのテクノロジーを活用し、地域活性化や産業の高度化に寄与する事業者を対象としています。インキュベーションルームは、専有部分の月額賃料が無料で提供され、共益費や実費相当額（電気料、ネット回線料など）のみが入居者の負担となります。

2. 創業塾の開催

加賀商工会議所では、創業塾を夏季と冬季（女性限定）の2回実施しています。この創業塾は、加賀市の特定創業支援事業の一環であり、受講者には各種の特典が提供されます。例えば、小規模事業者持続化補助金の補助上限額が引き上げられる優遇措置があります。

3. 開業手続き支援

加賀市では、開業の促進のため、登記、税務、年金・社会保険等の法人設立及び事業開始時に必要な各種申請等を1つの場所でオンラインにより実施可能とする「加賀市開業ワンストップセンター」を設置しています。手続き支援は、担当の市職員によるほか、必要に応じて行政書士や司法書士がアドバイスします。

4. 補助金制度

加賀市は、スタートアップ企業を対象とした補助金制度を設けています。インキュベーションルームに入居する企業には、「加賀市スタートアップ企業応援事業補助金」が交付されます。この補助金は、新商品・サービスの創出や法人登記などの間接的な企業活動に係る経費を対象とし、対象経費の4分の3以内で最大100万円まで支給されます。

他にも加賀市内での新規出店費用補助や融資利子補給など様々な補助金が用意されています。

5. 先端技術への取り組みと支援

加賀市では、自動運転EVバス（運転レベル4車両）の公道走行実証、ドローンビジネスモデル創出にむけたAI管制プラットフォーム活用、ルビーロマンの生産にIoT技術を活用、などの先端技術を活用した実証実験を支援しています。これにより、地域課題の解決や新産業の創出を目指しています。

これらの取り組みにより、加賀市はスタートアップ企業の成長を支援し、地域経済の活性化を図っています。

加賀市イノベーションセンターのご紹介

加賀市イノベーションセンターは、スタートアップ企業や新規事業の立ち上げを支援するための施設であり、地域のデジタル化や産業の高度化を目指しています。

> 施設紹介

センター内には、以下のような施設が整備されています。



インキュベーションルーム

スタートアップ企業や新規事業のためのオフィススペース。21 部屋あり、月額賃料は無料（共益費、実費のみ負担）。



ものづくりルーム

3D プリンタやレーザー加工機などの最新のデジタル機材を備えた工作室。



コワーキングスペース

他の利用者と交流しながら仕事ができるスペース。



オンラインルーム

オンライン会議に最適な設備を備えた部屋。



クリエイタースタジオ

動画や写真撮影に特化したスタジオ。

> 特徴

無料のインキュベーションルーム

インキュベーションルームは、スタートアップ企業や新規事業を支援するために提供されており、月額賃料が無料です。ただし、共益費として3,000～5,000円/月程度の負担があります。入居期間は1年間で、更新可能（最長3年間）です。

専門家による支援

中小企業診断士や行政書士の資格を持つ「加賀市イノベーション事業コーディネーター」が、事業の立ち上げから展開までの個別支援を行います。これにより、起業家は専門的なアドバイスを受けながら事業を進めることができます。

先端技術の活用

ものづくりルームでは、3Dプリンタやレーザー加工機などの先端技術を活用して試作が行えます。これにより、製品開発のスピードアップやコスト削減が可能です。

コミュニティスペース

コワーキングスペースやコミュニティスペースでは、他の利用者との交流を通じて新しいビジネスアイデアや協力関係が生まれることが期待されます。これにより、地域全体のビジネスエコシステムが強化されます。

デジタル人材育成

加賀市イノベーションセンターでは、若年層からのデジタル人材育成を重視しています。セミナールームでは、IoTやAIに関するセミナーが定期的で開催されており、地域のデジタル技術の普及と人材育成が進められています。

加賀市イノベーションセンターは、地域のデジタル化と産業の高度化を推進するための重要な拠点として、今後も多様な支援を提供していきます。特に、デジタル技術の進展に伴い、オンラインでの支援やリモートワーク環境の整備が進み、グローバルなネットワーキングの機会を提供することで、国際的なビジネス展開を支援します。

担当者コメント

コミュニティーマネージャー/佐々木浩二（株式会社CCイノベーション シニアコンサルタント）

加賀市イノベーションセンターは、スタートアップや新規事業の立ち上げを全力でサポートします。最新の設備と専門家によるアドバイスを提供し、ビジネスの成功を後押しします。さらに、インキュベーションルームは無料で利用できるため、コストを抑えながらも最適な環境で事業を展開できます。他の入居企業とのコラボレーションやネットワーキングの機会も豊富にあり、ビジネスの成長を加速させる絶好の場所です。私たちと共に新しい未来を築きましょう。